

舞鶴赤れんがハーフマラソン

10/14 祝 9時30分
スタート!!

ランナーを
応援しよう!

ランナーに声援を送って一緒に大会
を盛り上げましょう。当日は、赤れんが
パークに飲食ブースを設置。



▲赤れんが倉庫群前



▲海上自衛隊航空基地



▲海上自衛隊北吸棧橋



応援ナビで選手を応援

応援しているランナーが、今どこを走っているのかをリアルタイムで予測し、地図上に表示できるスマホ用無料アプリ。5ヶ毎の通過記録やゴール予測タイムも確認できます。右コードからアクセス可。



コース図と交通規制時間

交通規制にご協力を

レースの進行に合わせて交通規制を実施。コースの付近を通る場合は、警察官や誘導員の指示に従ってください。安全なレース運営のため、ご協力をお願いします。

詳しくは、右図のとおり。

応援者の来場は公共交通機関で

会場周辺の駐車場は選手専用です。応援や観戦で来場する際は、公共交通機関を利用するか、最寄りの有料駐車場などをご利用ください。



問い合わせ先

実行委員会事務局（スポーツ振興課内、☎66・1058）
詳しくは大会ホームページで確認を。右コードからアクセス可。



将来の地域医療の確保に向けて

京都府立医科大学の学生と懇談

8月28日、京都府立医科大学医学部の学生25人が、舞鶴市の地域医療の現状と今後の取り組みについて市長と意見交換を行いました。

市長は、地域医療の確保に向けた舞鶴市の現在の取り組みを解説し、地域住民や医療従事者など、さまざまな立場の人へ配慮しながら、10年後、20年後も、安心して受けられる医療提供体制を確保していくことが重要であると説明しました。その後、グループワークを行い、今後、舞鶴市に求められる医療機能や、望まれる医療環境などに対し、医療従事者をめざす学生の立場から幅広い意見や提案を出していただきました。



地域医療に関する意見を募集中

将来、舞鶴市に求められる医療機能をどのように確保していくのかを検討するため「舞鶴市医療機能最適化検討会議」を開催しています。これまで開催された会議の概要を、市ホームページに掲載してい

日星高等学校看護科の生徒と懇談

9月6日「市民との対話集会」の一環として「地域で看護師になるということ」をテーマに、日星高等学校看護科の生徒65人が市長と懇談しました。

市長は、元気に回復された患者やその家族と地域生活でも接する機会があるという視点に触れながら、看護職のやりがいや、地域で看護師になる意味を生徒たちと一緒に議論しました。生徒たちは、舞鶴で働く自身の姿を想像しながら、患者とどのように向き合っていくべきかを真剣に考え、活発に意見交換を行いました。

最後に、看護職を目指し日々勉学に励む生徒たちに、市長がエールを送りました。10月19日(土)に、看護科のオープンスクールが実施されます。看護職を目指す中学生の



参加をお待ちしています。詳細は、ホームページで確認を。下コードからアクセス可。



思い描く図書館づくり

(第3回)

中央図書館の整備

現在、東・西図書館を統合し、分散している司書や本を集約し、企画・運営・管理力を強化した中央図書館の整備を進めています。

新たな中央図書館は、市内全域のすべての市民に求められるサービスが提供できる司令塔としての役割を担います。そして、市民が気軽に出会い、つながる交流の場となることや、専門的な本と知識豊かな司書により市民一人ひとりの課題解決を支える、皆さんの生活やまちづくりの役に立つ図書館を目指しています。

中央図書館は、西舞鶴駅東口への建設を予定し、現在は、建物の基本設計業務を進めています。これまでに計3回市民ワークショップを開催し、設計案に対する皆さんの意見をお聞きしました。その意見を参考に、市民の思いを取り入れた図書館となるよう設計を進め

ていきます。

これまでの内容は、市ホームページに掲載しています。右コードからアクセス可。《図書館課》



第3回ワークショップで示した外観イメージ図
(提供：遠藤克彦建築研究所)